

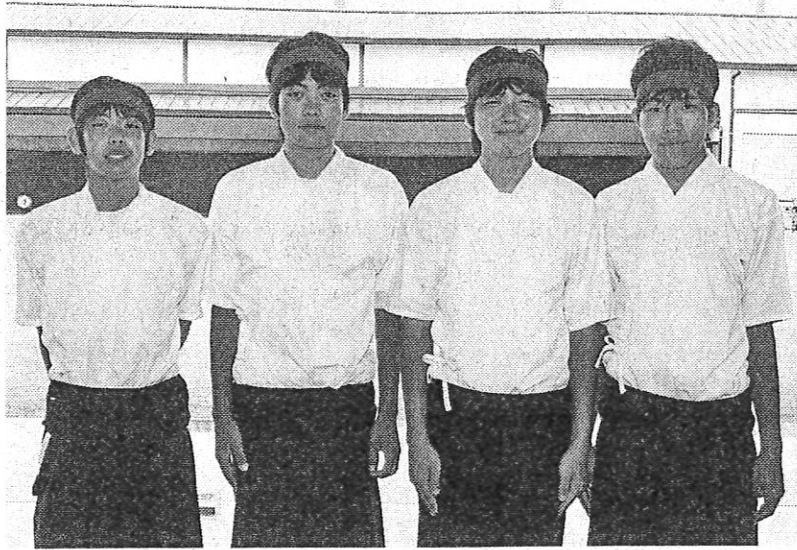
紀 伊 民 報

田辺工が男子団体優勝

県高校弓道 11月に近畿大会

県高校弓道選手権大会(県高体連主催)がこのほど、御坊市の紀央館、日高両高校であり、田辺工業が男子団体で優勝。11月に大阪市で開かれる近畿大会への出場を決めた。

男女別で団体、個人ともに、28ヶ先にある直径36センチの的を狙う「近的」で実施した。3人一組で競う団体の男子には8校の計27組が出場。1人16回ずつ矢を放つて、的に当たった数で順位を決め、上位8組が決勝トーナメントに進んだ。トーナメントでは1人4回ずつ矢を放った。



県大会の団体で優勝し、近畿大会への出場を決めた田辺工業の選手

優勝した田辺工業の組は富塚康平選手、西畑悠樹選手、羽根知哉選手、木下和磨選手(全員が2年生)。決勝トーナメント1回戦で同校対決を制し、準決勝で日高を、決勝では紀央館を破って優勝した。3位は日高だった。

富塚選手は「試合直前に弓の弦(つる)が切れるアクシデントもあったが、皆がカバ―し合い、力を出し切れた」と振り返り、田辺工業の尾崎修平主将は「田辺工業の組が優勝したことはうれしい。近畿大会では出場する選手だけでなく、全員で戦う雰囲気をつくりたい」と話した。メンバーを入れ替える可能性もあるという。

7校から計20組が参加した団体の女子では、日高が優勝し、近畿大会への出場を決めた。準優勝は串本古座、3位は日高だった。

個人戦でも1人16回ずつ矢を放ち、的に当たった数で順位を決めた。上位入賞者は次の皆さん。

- 男子 ①今井雅基(紀央館2年) ②西畑悠樹(田辺工業2年) ③柳澤祐希(日高3年)

- ▽女子 ①桑島彩(串本古座2年) ②永野杏奈(日高3年) ③松浦可歩(神島1年)